年間指導計画表（シラバス）

科目名	課題研究（流通探究）	単位数	3単位
		学年等	3年生（流通マーケティングコース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）流通全般や小売に関する課題を設定し、市場の動向、消費者の購買行動および商品の企画・流通・消費に関する内容を主とした事例研究に取り組む。 （2）商業活動に関する専門的な知識と技術の深化を図る。 （3）大人との対話を通してビジネスの諸活動に関する諸課題を解決する力や探究心を養う。
使用教科書 副教材等	マーケティング（実教出版） 探究添削サービス（マイナビ、タブレット教材）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	流通に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済活動における流通の意義及び流通の役割の拡大について理解している。また、流通やマーケティング、SDGsに関する資料を収集し、得られた情報の意味を読み取り整理することができる。	経済活動における流通の意義や役割及び流通の役割の拡大について起業家精神の視点によって、思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに適切に判断し、導出した考えを表現している。	経済活動における流通の意義や役割、ビジネスの諸活動に関する諸課題の解決にあたって、自ら積極的に行動し、情報の収集や整理・活用に努めたり、自身の接客・販売技術の向上に努めたりしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	市場調査の概要 SDGsとマーケティング 生徒商業論文 商品開発と販売実習	・小テスト	・ワークシートの記述分析	・学習課題 ・ワークシートの記述分析 ・実習に参加する態度
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	SDGsポスターセッションの取り組み 商品開発と販売実習	・小テスト	・ワークシートの記述分析	・学習課題 ・ワークシートの記述分析 ・実習に参加する態度
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	1年間の学習のまとめ「流通探究」 商品開発と販売実習	・小テスト	・ワークシートの記述分析	・学習課題 ・ワークシートの記述分析 ・実習に参加する態度
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	市場調査の概要	7
	5	SDGsとマーケティング	12
	6	生徒商業論文	5
	7	商品開発と販売実習	11
2学期	8	SDGsポスターセッションの取り組み	3
	9	SDGsポスターセッションの取り組み	12
	10	SDGsポスターセッションの取り組み	12
	11	SDGsポスターセッションの取り組み	12
	12	商品開発と販売実習	7
3学期	1	1年間の学習のまとめ「流通探究」	10
	2	商品開発と販売実習	8
	3	商品開発と販売実習	6

5 その他

「流通全般」「小売業全般」の内容について理解を深めるために、実際に企業の方から話を聞くなど、大人との対話を通して理解を深めていく科目です。

年間指導計画表（シラバス）

科目名	課題研究（観光商品開発探究）	単位数	3単位
		学年等	3年生（観光ビジネスコース）

1　学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術（観光商品の開発）を身に付けるようにする。 （2）ビジネスに関する旅行商品開発に関する課題を発見し、観光ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 （3）課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者速習レッスン（株式会社ユーキャン学び出版） 【2年次からの継続使用】

2　評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	観光に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、観光の意義及び観光の振興について理解している。 また、広島の観光資源の現状を把握し、地域課題に関する情報を読み取り、整理することができる。	観光の意義や役割、広島の観光振興について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに適切に判断し、導き出した考えを表現している。 広島の観光資源について多面的に考察し、地域課題の解決策を考えることができる。	観光の意義や役割、広島の観光振興に発見し、積極的に発信しようと広島の抱える地域課題の解決に向けて、組織の一員であることを自覚し、仲間と協働して取り組んでいる。
評価点	250 点	250 点	250 点

3　評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	国内旅行業務取扱管理者試験に向けた学習Ⅰ 標準旅行約款の研究	小テスト レポート作成	小テスト レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	観光商品開発に向けて 生徒商業論文 観光商品に関する探究	小テスト レポート作成	小テスト レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	商業学習発表会に向けて 観光ビジネスコースでの取り組み	レポート作成	レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	・国内旅行業務取扱管理者試験に向けた学習Ⅰ	6
	5	標準旅行約款の研究	4
	6	・国内旅行業務取扱管理者試験に向けた学習Ⅱ	13
	7		13
2学期	8	・生徒商業論文の取り組み 論文テーマ設定 論文作成	11
	9	・国内旅行業務取扱管理者試験に向けた学習Ⅲ	16
	10	・観光商品に関する探究 ターゲット・コンセプト設定および資料収集	6
	11	資料作成	16
	12	・発表会	
3学期	1	・1年間の学習のまとめ 商業学習発表会に向けて	20
	2	・商業学習発表会	

5 その他

2年次より学習してきた知識を活用し、旅行商品開発に挑戦する科目です。実際に販売されている旅行商品の探究に力を入れ、観光業の動向にも注目しましょう。ターゲットのニーズに適したツアープランを作成し、クライアントへプレゼンテーション力を身につけます。この授業では、発表することや制作物が多くなりますが、社会人として必要な力が身につけられるように頑張りましょう。

年間指導計画表（シラバス）

科目名	課題研究（PR 探究）	単位数	3単位
		学年等	3年生（広報プロデュースコース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、広報・広告に関するビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）広報・広告について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 （2）広報・広告に関するビジネス上の課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 （3）広報・広告に関する課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	なるほどデザイン　目で見て楽しむデザインの本。（株式会社エムディエヌコーポレーション）

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	広報・広告について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	広報・広告に関するビジネス上の課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を付けている。	広報・広告に関する課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	地域連携に関する学習 企業訪問 デザイン制作 振り返り	・作品 ・レポート ・報告書	・作品 ・レポート ・報告書 ・発表	・作品 ・報告書 ・振り返りシート ・授業の行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	デザイン制作 企業訪問 振り返り	・作品 ・報告書	・作品 ・報告書 ・発表	・作品 ・報告書 ・振り返りシート ・授業の行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	デザイン制作 企業訪問 チーム別総括報告会 振り返り	・作品 ・報告書	・作品 ・報告書 ・発表	・作品 ・報告書 ・振り返りシート ・授業の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	地域連携に関する学習 ・実態調査、調査研究、分析 ・電話応対・来客対応 ・インタビュー技術・メモの速記 ・想定問答 計画立案と実践 ・担当企業決め ・アポイントメント ・企業訪問 デザイン制作 ・企業からの依頼作品制作 ・自分史の制作・編集 コースでの学びの振り返り（論文形式） 1 学期振り返り発表	8 7 15 5
2学期	8 9 10 11 12	デザイン制作 ・企業ポスター制作 ・企業カード制作 ・企業ドキュメンタリー制作 ・企業プロモーションビデオ制作 企業訪問 ・企業インタビュー ・試作品確認 修正および構成作業 作品納品 2学期振り返り発表	23 8 14 5
3学期	1 2 3	企業訪問 ・インタビュー誌納品 チーム別総括報告会 デザイナーの社会的責任と影響 デザイン業界の展開と未来 広島のデザインの展望 デザインの現場で働くための心構え	10 5 5

5 その他

この授業では、地域との連携を通して、「商業デザインをビジネス活動に生かす力」を身に付けるために、主体的に学んでいきます。自分で聴いたこと、目で見て感じたことを最適な手法で表現していきます。その力を地域貢献につなげるために、これまで学習してきた知識・技術をしっかりと復習し、思い切って新しいことに挑戦してほしいと思います。また、実社会の実務を想定して、他の人と対話と協働作業を繰り返しながら、作品を制作していきます。相手の意向を尊重し、自分の仕事に責任を持って、説明ができるように、頑張っていきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	課題研究(FP 探究)	単位数	3単位
		学年等	3年生(金融ライフデザインコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)ファイナンシャルプランニングを学習した内容を活用し、自らのライフデザインについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 (2)自らのライフデザインに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、自らのライフデザインの創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	うかる！FP3級速攻テキスト 2022-2023(株式会社日本経済新聞出版社)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・生活における諸問題を客観的に把握し、その解決のために計画を立案できる。FPに関する基礎的・基本的な知識と見識を身に付け、現実の諸問題に適用できる水準まで理解を深めている。 ・暮らしにおけるﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞの必要性を理解し、自らの将来について幅広く考察できる能力を身に付けている。	・FPに関する諸問題を解決するために、日ごろから自らの思考を深めている。 ・課題を解決するために、学習した知識や見識を活用し、適切に判断して、創意工夫する能力が身についている。	・FPに関する諸問題について関心をもち、それらを改善・向上させるために意欲的に取り組もうとする。 ・FPに対して望ましい心構えや実践的な態度を身につけ、自己実現に向け意欲をもとうとする。 ・FPに関する資料を自ら収集し、その中から適切なものを選択して、主体的に活用する能力を身に付けようとする。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	・ 探求入門 ・ 論文作成の基礎 ・小・中学生向け金融授業への取組	試験 小テスト 論文等	試験 小テスト 論文等	授業への取り組み 課題への取り組み 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	・ 金融・経済の基礎 ・ 金融知力 ・小・中学生向け金融授業への取り組み ・卒業課題への取り組み	試験 小テスト	試験 小テスト	授業への取り組み 課題への取り組み 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	・卒業課題への取り組み	課題 と 発表	課題 と 発表	授業と課題への取り組み
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	1 探求入門 ・手順と方法、情報収集のしかた ・まとめ方、表現の方法 2 論文作成の基礎 ・論文の書き方の基礎 ・情報の集め方 ・論文の作成、推敲し完成させる ・発表会の実施 ・国税庁主催「税の作文コンクール」に応募 3 1と2に並行し、小・中学生向け金融授業への取り組み ・実施可能なアイデアを出し準備をする	10 13 13
2学期	8 9 10 11 12	4 金融・経済の基礎 ・金利、景気、物価、為替などマーケット環境と国内経済の関係 ・新聞記事から世の中の動きと経済の関連を学ぶ 5 金融知力 ・金融・経済の基礎 ・税制・保健・年金の基礎 ・「金融甲子園」に向けての学習 ・「金融甲子園」への参加 6 社会人講師による授業 7 1と2に並行し、小・中学生向け金融授業への取り組み ・実施に向けての準備 8 卒業課題への取り組み ・テーマの設定 ・情報と資料の収集	11 16 6 10 6
3学期	1 2 3	・卒業課題への取り組み ・作品の作成 ・作品の発表 ・在校生への引継ぎ	20

5 その他

これまでに培った金融に関する知識や技能をもとに、それを活用し自分自身のライフプランニングにいかすとともに、他の人に伝えるプレゼンテーションの力も身に付けます。自分の力をほかの人に伝え、喜んでもらえることで学びをと成長を実感し、自信をつけて社会に旅立てるよう頑張りましょう。

年間指導計画表（シラバス）

科目名	課題研究（オフィス実践）	単位数	3単位
		学年等	3年生（ビジネス実務コース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、ビジネスシーンに必要な資質・能力を身につけ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成することを目指す。 （1）ビジネスシーンでの実務を体系的・系統的に理解したうえで、関連する場面で技能を発揮することができる。 （2）ビジネスシーンに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけ、振り返りの中から次につながる提案ができる。 （3）ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスシーンにおいて主体的かつ協働的に取り組む態度が身についている。
使用教科書 副教材等	高校生からのビジネスマナー（実教出版）【2 年次からの継続使用】

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ビジネススキルに関する知識を理解するとともに、他者への対応について組織の一員としての役割を果たすことができる。 関連する場面で指導役としての技能を発揮することができる。	ビジネスにおける思考の方法について学ぶとともに、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づき、創造的に解決する力が身に付いている。 改善点からよりよい提案をすることができる。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する知識をもとに、その意義と課題について主体的に考えるとともに他者と連携することにより、協働的に取り組む態度が身に付けている。
評価点	250 点	250 点	250 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	ビジネス実務コースで学んだことについて （生徒商業論文） 企業訪問時に必要になることの探究 （名刺交換の指導など）	レポート作成	レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	オープンスクールに向けての探究 （企画・立案・当日受付・実演等） 市商ピースデパートに向けての探究 （来賓受付・来賓応対・総合案内所）	レポート作成	レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	商業学習発表会に向けて （運営、各コースとの連携、連絡、集約）	レポート作成	レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	・生徒商業論文の取り組み 論文テーマ設定 論文作成 ・労務管理についてⅠ ・企業訪問時に必要になることの探究 挨拶の仕方、服装、身だしなみ、名刺交換について ・総合的な探究の時間（企業訪問について） 指導役としての準備 仕事の割り出し、役割分担、仕事内容の準備と確認、資料作成、リハーサル 振り返り（次年度に向けて）	7 10 12 7
2学期	8 9 10 11 12	・オープンスクールの企画、運営についての探究 仕事の割り出し、役割分担、仕事内容の準備と確認、資料作成、リハーサル 振り返り（次年度に向けて） ・労務管理についてⅡ ・広島市商ピースデパートの運営についての探究 来賓受付、来賓応対について 総合案内所について マニュアル作成 引継ぎ文書について	4 16 11 12 10
3学期	1 2	・商業学習発表会の運営についての探究 仕事の割り出し、役割分担、仕事内容の準備と確認、資料作成、 当日の運営、各コースとの連携、連絡、集約、リハーサル 振り返り（次年度に向けて）	10 6

5 その他

年間指導計画表（シラバス）

科目名	課題研究（経理担当養成講座）	単位数	3単位
		学年等	3年生（会計マネジメントコース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）会計分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 （2）会計処理に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 （3）会計的課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	全商財務諸表分析検定試験テキスト（実教出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	企業における会計処理、財務分析及び会計制度に関する情報を収集し、適切に分析することができる。企業の財務諸表から財政状態や経営成績などを分析した資料を作成策する技術を身に付けている。	企業における会計処理、財務分析及び会計制度に関する情報を収集し、その内容を主とした調査や研究を行い、その結果をプレゼンテーションすることができる。	企業における会計処理、財務分析及び会計制度に関する情報を主体的に収集する態度を身に付けている。また、他者と協同し調査研究する態度を身に付けている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	・財務諸表分析の理論 ・企業管理と株主のための分析 ・投資のための分析	試験 小テスト	試験 小テスト	授業観察 課題取組状況 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	・財務諸表分析の実際 ・生徒商業論文 ・中学生向け簿記授業の資料作成	試験 小テスト 論文等	試験 小テスト 論文等	授業観察 課題取組状況 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	・卒業課題：財務諸表分析	課題等	課題等	授業観察 課題取組状況 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	【財務諸表分析に向けた学習】 第１部 財務諸表分析の理論 ・財務諸表の種類と入手方法 ・財務諸表の例示と読み方 ・財務諸表分析の目的と方法 第２部 企業管理と株主のための分析 ・収益性の分析 ・安全性の分析 第３部 投資のための分析 ・企業価値の分析	10 13 13
2学期	8 9 10 11 12	第４部 財務諸表分析の実際 ・企業間比較の実践 ・期間比較の実践 【生徒商業論文の取り組み】 ・論文テーマ設定 ・論文作成 【外部講師授業】 【中学生向け簿記授業の資料作成】 ・テーマ設定及び資料収集 ・資料作成（メタモジ） ・発表	11 16 6 16
3学期	1 2 3	【卒業課題：財務諸表分析】 ・財務諸表分析企業の設定およびデータ入手 ・財務諸表分析個人レポート作成 ・財務諸表分析ペアレポートの作成及びペアプレゼンテーション資料作成（PowerPoint） ・財務諸表分析のペア発表	20

5 その他

これまでに培った会計知識を元に、企業を分析する能力やそれをプレゼンテーションルームする力を身に付けます。問題を解くことに注力しない授業であり、答えや正解のないことが多いです。発表することや制作物が多くなりますが、社会人として必要な力が身につくと思いますので頑張りましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	課題研究(システム開発)	単位数	3単位
		学年等	3年生(IT エンジニアコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ネットビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)課題を発見し、システム開発に携わるものとして科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)システム開発上の課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	疑似言語で学ぶアルゴリズム(株式会社インフォテック・サーブ) 基本情報技術者科目 B 問題集【第2版】(株式会社インフォテック・サーブ)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	システム開発の一連の手順に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	システム開発にあたって、テーマの設定やシステムの技法など、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	システム開発上の課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	アプリ実習 簡単なアプリケーションの開発 アプリの開発企画書の作成 内容、ターゲット、効果 論文指導	・制作物 20 ・発表 10 ・報告書 20	・制作物 10 ・論文 20 ・発表 20	・発表 10 ・日報 20 ・授業観察 10
	評価点	50点	50点	50点
2学期	アプリの制作 テスト・デバッグ	・制作物 10 ・企画書等 30 ・報告書 10	・制作物 20 ・企画書等 20 ・発表 10	・発表 10 ・日報 10 ・授業観察 30
	評価点	50点	50点	50点
3学期	アプリコンテストへの準備・提出 コースの振り返り 商業学習発表会の準備・実施	・制作物２つ 40 ・発表 10	・制作物 30 ・発表 20	・発表 10 ・日報 10 授業観察 30
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	アプリ開発に必要な基礎的学習・演習 　分岐　関数　イベント DOM フォーム	6
	5	いろいろな演算子　配列　繰り返し 簡単なアプリケーションの開発 1 論文指導	12
	6	簡単なアプリケーションの開発 2 発表	12
2学期	7	アプリの開発企画書の作成 　内容、ターゲット、効果	9
	8	サンプルの作成と評価改善 アプリの制作①	4
	9	テスト・デバッグ	12
	10	アプリの制作②	14
	11	アプリの制作③ 発表	14
3学期	12	アプリコンテストへの準備・提出 発表	10
	1	2 年間の振り返り・レポート 商業学習研究発表会の準備	12
	2 3	商業学習発表会のリハーサルと実施	

5 その他

2年次まで培ってきた、知識と技術を用いて、システムを開発することの難しさと喜びを感じてほしいと思います。
エラーとの戦いです。自分が正しいと思っていたり、わからないを繰り返していても、前には進めません。
とにかく調べること、尋ねることです。
システム開発は、個人で行うものではないので、コミュニケーションをとりながらチームで行います。簡単にできることではないことを覚悟して、エラーがなくなった時の達成感を自分の糧にしてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	課題研究(ネットショップ実習)	単位数	3単位
		学年等	3年生(ネットビジネスコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ネットビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)ネットビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)ビジネスに関する課題を発見し、ネットビジネスに携わるものとして科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ネットビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	入門 Web デザイン[第四版] (公益財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS)) 今すぐ使えるかんたんホームページ HTML&CSS 入門改定2版(株式会社技術評論社)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ネットビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ネット社会におけるビジネスの意義及び振興について理解している。また、Web サイト構築の技術を身に付けている。	ネット社会におけるビジネスの意義や役割について思考を深め、ユーザから求められることを考え調査・研究し、Web サイトを通して表現することができる。	ネット社会におけるビジネスの意義を見出し、情報収集及び積極的に発信しようとしている。また、他者と意見交換を重ね、協働して課題解決に取り組む態度を身に付けている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	・Web デザインへのアプローチ ・コンセプトと情報設計	小テスト レポート作成	小テスト レポート作成	ホームページ作成 授業観察 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	・生徒商業論文 ・デザインと表現手法 ・Web ページを実現する技術	小テスト レポート作成	小テスト レポート作成	サイトマップ作成 授業観察 提出物の状況
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	・Web サイトの公開と運用	課題等	課題等	授業観察 提出物の状況 発表
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	・Web デザインへのアプローチ Web デザインを学ぶ前に さまざまなWeb サービス Web サイトの制作フロー ・コンセプトと情報設計 コンセプトメイキング 情報の収集・分類・組織化 情報の構造化 さまざまな閲覧機器 ホームページ作成（HTML＆CSSの基礎）	6 5 9 16
2学期	8 9 10 11 12	・デザインと表現手法 文字、色、画像 ナビゲーション レイアウト ・Web ページを実現する技術 HTMLと CSS の学習準備 HTMLと CSS の仕組み サイトマップの作成 ホームページ作成	10 18 18
3学期	1 2	・Web サイトの公開と運用 テストと修正 公開 発表	23

5 その他

一斉講義形式と小テスト形式、実技を繰り返し行っていきますが、一定の知識・技能を身に付けたあとは、ネットビジネスコースで学んできたマルチメディアやWeb サイトの企画・制作に関する専門的な知識を応用して取り組みます。実際にWeb サイトを構築する授業です。社会人として必要な力が身に付くと思いますので、意欲的に取り組んでください。期待しています。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	総合実践	単位数	2単位
		学年等	3年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成を目指す。 (1)コンピュータを利用した同時同業取引演習をとおして、帳票の作成・整理が出来るようになること。 (2)日経ストックリーグに参加し、企業経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を習得すること。 (3)リアリティのある株式投資を体験する中で、株式投資そのものを学ぶだけでなく、金融・経済その他の関連する分野に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を育成し、ビジネス活動における望ましい態度やマナーを身に付けること。
使用教科書 副教材等	本校教員作成のテキスト 日経ストックリーグ学習ガイドブック(編集発行　日本経済新聞社)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ビジネスマナー(挨拶や言葉遣いをその場にふさわしいものにする、服装を正す、授業道具を用意する)や記帳処理技術を積極的に身に付ける。 リアリティのある株式投資を体験する中で、株式投資そのものを学ぶだけでなく、金融・経済その他の関連する分野に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を身につける。	わからないことが出たときに、適切に質問したり、教科書等を活用したりすることができる。 記帳処理技術を積極的に活用することができる。 金融・経済事象について理解することを目指して思考を深め、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	ビジネスマナーや記帳技術について深く学び、主体的に自ら取り組む姿勢を身に付けている。 日経ストックリーグの学習を通して、株式投資に関する専門的な知識を探究するとともに、金融・経済全般に関する課題に関してさらに研究に取り組もうとする主体的な態度を身に付けている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	総合実践の概要説明 1 ビジネスマナーの学習 2 同時同業取引演習の学習 帳簿作成とその取引について 3 日経ストックリーグへの取組 日本経済新聞の読み方 株式市場の仕組み バーチャル投資をする企業の選定	定期テスト1回 定期テスト(20点) 提出内容と取組状況(80点)	・実習課題(同時同業取引) ・演習課題への取組 ・グループワークの取組状況 定期テスト(20点) 提出状況と内容状況(80点)	・授業中の行動観察 ・実習課題(同時同業取引演習)への取組状況
	評価点	100点	100点	100点
2学期	1 日経ストックリーグの学習 経済に関する基礎学習に取りくむ ① 身近なくらしから経済を考える ② 社会の変化から経済を考える ③ グルーバルな問題から経済を考える ④ 持続可能な開発目標(SDGs)と経済 ⑤ 経済の動きを読み解くための基礎知識 ⑥ 知っておきたい株式投資の基礎知識	定期テスト１回 定期テスト(20点) 提出内容と取組状況(80点)	定期テスト１回 演習課題への取組 ・グループワークの取組状況 定期テスト(20点) 提出内容と取組状況(80点)	・授業中の行動観察 ・演習課題への取組状況 演習課題への取組 ・グループワークの取組状況

	2 ストックリーグ参加最終エントリーを申し込む（最終エントリーの締め切り日は9月の初旬） 3 報告レポートの作成 （報告レポート提出の締め切りは、1 月中旬）			
	評価点	100点	100点	100点
3学期	報告レポートを提出後、日経ストックリーグの学習を通して学んだことを各チームでまとめる。	提出状況と発表内容	演習課題への取組 ・グループワークの取組状況	演習課題への取組 ・グループワークの取組状況
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	総合実践の概要説明 1. ビジネスマナーに関する内容 2、同時同業の取引演習に関する内容 3. 日経ストックリーグへの参加と取組に関する内容	4
	5	ビジネスマナーとは、なぜビジネスマナーが必要なのか、この内容を学習して何を身につけるのかについて学ぶ	4
	6	同時同業取引演習 演習を通して、帳簿組織を体系的に理解し、記帳に関する専門的な知識や技術を身に付けるともに経営管理能力を磨く	8 4
	7	日経ストックリーグ参加への準備 日本経済新聞の読み方　株式市場の仕組み　バーチャル投資をする企業の選定 ※ただし、4月～6月にかけて日経ストックリーグの準備のため情報収集等の作業を1時間、研究する時間を設ける。 ・・・・・1 学期期末試験	1
2学期	8	日経ストックリーグ参加への準備 バーチャル投資をする企業の選定をする。 夏休みの期間を使って、投資対象の企業情報を収集し、投資の意思決定を行うための投資判断能力を身に付ける。 ※最終参加エントリーの締め切りは 9 月の初旬	4
	9	経済に関する基礎学習 ①身近なくらしから経済を考える ②社会の変化から経済を考える ③グローバルな問題から経済を考える ④持続可能な開発目標（SDGs）と経済を考える。	14
	10	⑤経済を読み解くための基礎知識 ⑥知っておきたい株式投資の基礎知識 これらの学習を日本経済新聞の記事等を活用しながら学び、経済に関する判断力を磨く。	
	11	報告レポートの作成作業	14
	12	報告レポートの書式を以下の項目で整理する ①暮らしや社会の変化と経済関係 ②投資テーマの決定	
	12	③ポートフォリオの作成 ④最終投資先の決定 以上の内容を中心に整理する。（報告レポート提出の締め切りは、1 月中旬） 参加レポートを作成することによって、論炉的思考能力と文書表現能力を身に付ける	6
		・・・・・2学期期末試験	1

3学期	1 2	報告レポートを提出後、日経ストックリーグの学習を通して学んだことを各チームでまとめる。 また、報告レポートの内容を発表するための資料として整理し、発表の準備に取り掛かる。 各班の発表会を総合実践の授業で実施する。 学んだ成果とこれから自分自身が伸ばすべき内容について整理する。	10

5 その他

簿記の学習を体系的に整理する。したがって、簿記の教科書等を同時同業取引演習の際に活用すること。
ビジネスマナーや記帳技術などを自ら主体的に身に付けようとする態度を身に付けること。
授業道具や必要なもの（名札、印鑑等、タブレット）忘れないこと。
社会人になるにあたっての準備を兼ねている授業であり、自分に対する厳しさを持つことが必要である。
日経ストックリーグへの参加を通して株式投資の内容や経済活動の内容について理解し、それが私たちの生活にどのように関わっていくかを考え、判断できる力を身に付ける。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	財務会計Ⅱ	単位数	4単位
		学年等	3年生(会計マネジメントコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う。 (3)会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	新使える財務会計Ⅱ (ネットスクール出版) 新使える財務会計Ⅱ 問題集(ネットスクール出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	財務会計に関する論理的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術を身に付けている。	会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力、財務指標を組み合わせて企業の実態を総合的に分析する力及び経営判断が企業に及ぼす影響を会計的側面から分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、国際的な会計基準を踏まえた企業集団の会計処理などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度を養う。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	・資産と期末棚卸資産の評価 ・有価証券 ・固定資産 ・減損会計 ・無形固定資産 ・負債会計	定期試験等	定期試験等	授業観察 提出物の状況
	評価点	100点	100点	100点
2学期	・リース会計 ・外貨換算会計 ・在外支店 ・純資産会計 ・企業結合 ・連結会計 ・持分法	定期試験等	定期試験等	授業観察 提出物の状況
	評価点	100点	100点	100点
3学期	・キャッシュフロー計算書 ・税効果会計 ・財務諸表の活用	定期試験等	定期試験等	授業観察 提出物の状況
	評価点	50点	50点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	Chapter1 財務会計と会計基準	3
		Chapter2 資産の評価	7
		Chapter3 期末棚卸資産(商品)の評価	5
	5	Chapter4 有価証券	5
		Chapter5 固定資産	6
		1学期中間試験	
	6	Chapter6 減損会計	6
	7	Chapter7 無形固定資産	7
		Chapter8 負債会計	9
		1学期期末試験	
2学期	8	Chapter9 リース会計	6
	9	Chapter10 外貨換算会計	12
		Chapter15 在外支店	7
	10	2 学期中間試験	
		Chapter11 純資産会計	10
		Chapter12 企業結合	11
	11	Chapter13 連結会計	13
		2 学期期末試験	
	12	Chapter14 持分法	7
3学期	1	Chapter16 キャッシュフロー計算書	11
		Chapter17 税効果会計	9
		Chapter18 財務諸表の活用	6
	2		
		学年末試験	
	3		

5 その他

最初は難しいと感じるかもしれませんが、授業でしっかり学習していくうちに、必ず理解することができます。目標は、ただ検定試験に合格するためではなく、自分の頭でしっかり考え、理解し、習得した知識・技術が将来社会に出て活用できるように、会計を活用する力を身に付けてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	ネットワーク管理	単位数	4単位
		学年等	3年生(IT エンジニアコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の味方考え方を働かせ、実践的・体系的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を育成することを目指す。 (1) 情報資産を共有し保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (2) 課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し保護する環境の提供に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	ネットワーク管理 (実教出版) IT 戦略とマネジメント(株式会社インフォテック・サーブ)≪継続使用≫ IT ワールド(株式会社インフォテック・サーブ)≪継続使用≫ 基本情報技術者科目 A 問題集(株式会社インフォテック・サーブ)≪継続使用≫

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	情報資産を共有し,保護する環境の提供について実務に即して、ビジネスの様々な場面で役に立つ情報セキュリティ管理及び情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理に関する知識を体系的・系統的に理解するとともに,関連する技術を身に付けている。	情報資産を共有し,保護する環境の提供に関する課題を発見し,企業活動に及ぼす影響を踏まえ、情報通信ネットワークに関する技術、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて最適な解を導き出し、創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び,情報資産を共有し,保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	第1章 企業活動と情報通信ネットワーク 1節 情報資産の共有の重要性 2節 情報通信ネットワークの形態と通信 第2章 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 1節 情報通信ネットワークの設計方法 2節 情報通信ネットワークの仕組み 3節 ネットワーク機器	・定期考査3回 (課題・中間・期末) ・小テスト	・定期考査2回 (中間・期末) ・小テスト	・学習課題等4回 (課題・GW・中間・期末) ・ワークシート
	評価点	200点	200点	200点
2学期	第2章 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 4節 情報通信ネットワークの構築方法 5節 情報通信ネットワークの運用と障害対策 6節 システム監査 第3章 情報セキュリティ 1節 情報セキュリティ管理の目的と重要性 3節 人的対策	・定期考査3回 (課題・中間・期末) ・小テスト	・定期考査3回 (課題・中間・期末) ・小テスト	・学習課題等3回 (課題・中間・期末) ・ワークシート
	評価点	200点	200点	200点
3学期	第3章 情報セキュリティ 3節 技術的対策 4節 物理的対策 総合演習	・定期考査2回 (課題・学年末) 演習課題	・定期考査2回 (課題・学年末) 演習課題	・学習課題等2回 (課題・学年末) ・演習課題
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	課題テスト 第１章　企業活動と情報通信ネットワーク 　1節　情報資産の共有の重要性 　2節　情報通信ネットワークの形態と通信 中間考査 第2章　情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 　1節　情報通信ネットワークの設計方法 　2節　情報通信ネットワークの仕組み 　3節　ネットワーク機器 期末考査	14 28
2学期	9 10 11 12	課題テスト 第2章　情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 　4節　情報通信ネットワークの構築方法 　5節　情報通信ネットワークの運用と障害対策 　6節　システム監査 中間考査 第3章　情報セキュリティ管理 　1節　情報セキュリティ管理の目的と重要性 　2節　人的対策 期末考査 親子プログラミング教室の企画・テキスト作成	9 24 24 14
3学期	1 2 3	第3章　情報セキュリティ管理 　3節　技術的対策 　4節　物理的対策 総合演習 学年末考査	21 6

5 その他

1. 個人情報や知的財産の保護，情報の管理，発信する情報に対する責任など情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めること。
2. 情報セキュリティ管理について、実務に即して理解し、関連する技術を身に付けるために、自ら学び情報資産の保護に主体的かつ共同的に取り組むこと。

年間指導計画表（シラバス）

科目名	オフィス実務Ⅱ（学）	単位数	3単位
		学年等	3年生（ビジネス実務コース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、ビジネスにおけるコミュニケーション及びマネジメントに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）ビジネスにおけるコミュニケーション及びマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （2）ビジネスにおけるコミュニケーション及びマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 （3）ビジネスを円滑かつ適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることやマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	高校生からのビジネスマナー（実教出版）【2年生からの継続使用】 セクレタリー・シミュレーション（早稲田教育出版） 秘書検定集中講義準１級（早稲田教育出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ビジネススキルに関する知識・技術を理解しているとともに、他者への対応や組織の一員としての役割を果たすことができるよう適切な知識や、それらに関連する技術を身に付けている。	コミュニケーションが与える影響を科学的な根拠に基づいて思考し、適切な判断を行い、他者に伝える表現方法を身に付けている。それらを踏まえ合理的かつ創造的に表現する力を身に付けている。	ビジネスにおいて、コミュニケーションに関する知識などをもとに、その意義と課題について主体的に考えるとともに、他者と連携し協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	資格取得（秘書検定準1級）に向けて 筆記試験後の面接試験対応対策 一日体験入学のサポート	定期考査２回 （中間・期末）	定期考査２回 （中間・期末）	授業観察 提出物の状況
	評価点	100点	100点	100点
2学期	資格取得（秘書検定準1級）に向けて 筆記試験後の面接試験対応対策 広島市商ピースデパートにおける受付応対や来賓接待での実習	定期考査１回 （中間） レポート作成	定期考査１回 （中間） レポート作成	授業観察 提出物の状況
	評価点	100点	100点	100点
3学期	商業学習発表会に向けて	レポート作成	レポート作成	授業観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	セクレタリー・シミュレーション　環境整備・文書管理 資格取得（秘書検定準1級）に向けて	7
	5	1学期中間考査 セクレタリー・シミュレーション　資料管理・日程管理	8
	6	筆記試験後の面接試験対応対策 1学期期末考査	14
	7	セクレタリー・シミュレーション　会議運営・文書管理	8
2学期	8	セクレタリー・シミュレーション　来客・電話応対	4
	9	資格取得（秘書検定準1級）に向けて	12
	10	2学期中間考査	12
	11	セクレタリー・シミュレーション　交際業務・出張業務 広島市商ピースデパートにおける受付応対や来賓接待での実習	12
	12	商業学習発表会にむけて ビジネス実務コースでの取り組み 発表内容について企画・立案 筆記試験後の面接試験対応対策	10
3学期	1	商業学習発表会にむけて リハーサル	12
	2	振り返り・次年度に向けて	6

5 その他

〇話すこと、書くこと、表現することを恐れずに練習すること。実践での貴重な体験を活かしてこその授業です。
〇2年次に学んだ「オフィス実務Ⅰ」における知識・技術・心構えを土台とした授業であるため、服装・立ち居振る舞い・言葉遣い等もビジネス実務コースの生徒としてふさわしいものにしてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	ビジネス英会話(学)	単位数	3単位
		学年等	3年生(ビジネス実務コース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を次のとおり育成することを目指す。 (1) オフィス実務で学習した敬語・言葉遣い・動作・応対の多様性などについて幅広く理解するとともに, 英語表現において表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) ビジネスシーンにおいて、意図に基づいて表現を工夫し、臨機応変に対応・表現する力と問題解決能力を養う。 (3) 主体的に幅広いビジネス活動に取り組み、英会話においても、おもてなしや丁寧な対応ができる心情を育むとともに, 感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	教員作成テキスト

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・単元ごとの業務内容と英語表現を身につけている。 ・ダイアローグで学習した表現を、アクセントに気をつけたり、状況に応じて感情を込めたりして話している。(英語的技能) ・接客応対で求められる動きや状況に応じた答え方をしている。(商業的技能)	・状況に応じた受け応えを考えて行っている。 ・プレゼンテーションを行う際、聞き手にわかりやすく伝えるように工夫をしている。	相手に好印象を持っていただけるような服装や立ち居振る舞いを心がけ、より良い接客技術を身に着けるよう努力している。 ・他人に伝えたいことをより丁寧な表現で伝えようと努力し、粘り強く表現方法を練習する姿勢を持っている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1 学 期	自己紹介 基本 8 大用語 受付業務 電話応対	・パフォーマンステスト ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・パフォーマンステスト ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・ワークシートやノートの記述分析
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学 期	場内案内 販売業務 ホテル業務 レストラン業務	・パフォーマンステスト ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・パフォーマンステスト ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・ワークシートやノートの記述分析
	評価点	100 点	100 点	100 点
第 3 学 期	広島観光案内	・パフォーマンステスト ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・パフォーマンステスト ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・ワークシートやノートの記述分析
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	自己紹介	4
	5	8大用語	3
		受付業務	8
	6		
		電話応対	14
	7	【取り次ぎ・不在】	
		【アポイントメントの取り方・確認・変更・取消】	8
2学期	8	販売業務	4
	9	【場内案内および販売業務】	10
	10	ホテル業務	12
		【チェックイン・アウト】	12
	11	【レストラン】	10
	12		
3学期	1	広島観光案内（プレゼンテーション）	15
	2	発表と振り返り	5

5 その他

年間指導計画表(シラバス)

科目名	ビジネス文書演習(学)	単位数	1単位
		学年等	3年生(ビジネス実務コース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通してビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) ビジネス文書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 (2) ビジネス文書の機能性を理解し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、文書の意味や価値を考え、表現の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的にビジネス文書作成における幅広い活動に取り組み、ビジネス文書作成を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	新秘書実務 (早稲田教育出版) 美しい小筆字入門(大泉書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	慶弔の知識や手紙用語などの「大人の世界の用語」を習得する。 ビジネスの現場での新しい知識や仕事の進め方や最新の業務知識を意欲的に身に付ける。 ノートの整理やファイリングの技術、自分で調べた資料を整理し活用できる工夫をしている。	マニュアルに頼るのではなく、自分だったらどうするのかを常に考えて、工夫してよりよい表現ができるようになる。	小筆という慣れない学習に対して、粘り強く学習を続けることができるようになる。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	硬筆の学習 行書の進んだ学習 履歴書の練習	・作品提出 ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・作品提出 ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析
	評価点	100点	100点	100点
2学期	筆ペンの学習 ・楷書 ・行書 のし袋の表書き学習	・作品提出 ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・作品提出 ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析
	評価点	100点	100点	100点
3学期	筆ペンの学習 ・芳名録の学習 ・封筒の表書きの学習 ・はがきの表書きの学習 ・返信用封筒の書き方	・作品提出 ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・作品提出 ・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析
	評価点	100点	100点	100点

4　指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4 5 6 7	硬筆の学習 ・基本点画を正しく学習する ・楷書行書を正しく学習する 中間試験 ・上級の仮名の学習 2級検定問題を使っての学習 ・漢字仮名交じりの文章の学習 ・行書の進んだ学習 期末試験 ・履歴書の練習	3 4 4 3
2 学 期	9 10 11 12	筆ペンの学習 ・楷書の基本（点画の練習） ・楷書をきれいに書くポイント 中間試験 ・行書の基本（点画の練習） ・行書をきれいに書くポイント 期末試験 ・のし袋の表書き学習	4 4 4 3
3 学 期	1 2	筆ペンの学習 ・芳名録の学習 ・封筒の表書きの学習 ・はがきの表書きの学習 ・返信用封筒の書き方	5 1

5　その他

年間指導計画表(シラバス)

科目名	観光実習(学)	単位数	4単位
		学年等	3年生(観光ビジネスコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実験的・体験的な学びなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術(旅行商品の開発、観光ボランティアガイド)を身に付ける。 (2)観光ビジネスにおける旅行商品開発に関する課題を発見し、観光ビジネスに携わる者として、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)観光ビジネスを適切に展開するする力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスを主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	旅行業務取扱管理者速習レッスン国内総合(ユーキャン自由国民社)【2 年次から継続使用】 はじめて学ぶ世界遺産50世界遺産検定4級公式テキスト(株式会社マイナビ出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	観光ビジネスを展開するうえで必要な知識、観光商品を開発・販売するために必要な法律等、観光商品を開発するための専門的な知識・技術を身につけている。 広島の観光資源についての知識やその魅力を自ら発信できる技術を専門的な技術を身に付けている。	国内旅行業務取扱管理者試験の内容(旅行業法、旅行業約款、国内旅行実務)について様々な事例について思考・判断し、その課題について自らの言葉で表現することができる。 観光ガイドの実践を通して、旅行者のニーズを分析し、それに合った観光ガイドやおもてなしができる。	観光商品の開発のために、自ら地広島の観光資源について興味を持ち、それを深く探究したり、観光ビジネスを展開する上でのしくみについて、自らの専門性を深化することができる。 広島の地域活性化ために高校生の視点から考え、仲間と協働的に取り組むことができる。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1 学 期	国内旅行業務取扱管理者試験の内容の学習 旅行業法及びこれに基づく命令 ・ 旅行業法の基礎知識 ・ 登録制度①② ・ 営業保証金 ・ 旅行業取扱管理者・外務員 ・旅行業務の取扱いの料金、旅行業約款、標識 ・取引条件の説明・書面の交付 ・広告・旅程管理 ・受託契約 ・禁止行為・業務改善命令・罰則 ・旅行サービス手配業 ・旅行業協会・弁済業務保証金制度	定期試験等 授業観察 ワークシート	定期試験等 授業観察	学習課題等 ワークシート
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	広島県の観光資源に関する探究と現地調査 広島県内の観光資源について深く学び、魅力を理解し、メディア等活用して魅力を発信できる力を専門的に身に付ける。	定期試験等 授業観察 ワークシート	定期試験等 授業観察 実習観察	学習課題等 ワークシート

	観光ガイドの実践と研究 　平和記念公園の主要な被爆遺構等の魅力をガイド等の実践活動を通して発信する力を身に付ける。 　他地域から訪れる観光客が何を期待して広島を訪問するのか、そのニーズにこたえるために観光ガイドの実践を通してプレゼンテーション能力を身に付けていく。 　今学期に取り組んできた実践活動（広島の観光資源の調査研究、観光ガイド実習についてその成果と課題、改善すべき点についてPDCA サイクルにあてはめながら改善点を明確にする。			
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	DMO 組織の探究 　地域にある観光資源に精通し、DMO と連携しながら地域の観光振興のための実践活動に取り組み、その活動を通して観光マーケティングや観光地経営についての専門的な知識や能力を身につける。 自己の資質・能力と学びに向かう態度について探究 　1 年間を通して得た、観光ビジネスに必要な資質・能力、その学びの成果についてまとめる。また、これから地元広島の魅力を発信するためには何が必要なのか、自己の可能性や能力について探究する。	定期試験等 授業観察 ワークシート	定期試験等 授業観察 実習観察	学習課題等 ワークシート
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4 5 6 7	1 国内旅行業務取扱管理者試験の内容の学習 【旅行業法】 ・旅行業法の基礎知識 ・旅行業の登録制度 ・営業保証金 ・旅行業取扱管理者・外務員の職務 ・旅行業務の取扱いの料金、旅行業約款、標識 ・取引条件の説明・書面の交付 ・広告・旅程管理 ・受託契約 ・禁止行為・業務改善命令・罰則 ・旅行サービス手配業 ・旅行業協会・弁済業務保証金制度 期末試験 ・総合演習（国家試験　国内旅行業務取扱管理者　過去問題・模擬問題の演習） ＊コースアドバイザーによる国内旅行業務取扱管理者試験対策講座も計画予定	30 20 10
2学期	8 9 10 11 12	・総合演習（国内旅行業務取扱管理者試験） 国内旅行業務取扱管理者試験受験（9 月受験） 2. 広島県内の観光資源に関する現地調査（平和公園等） 観光資源の魅力について理解し、メディア等を活用して発信する。 3. 観光ガイドの実践と探究 主要な被爆遺構等の存在意義についてガイド実践を通して魅力を発信する。 期末試験 今学期に取り組んできた実践活動（広島の観光資源の調査研究、観光ガイド実習について）その成果と課題、改善すべき点について PDCA サイクルにあてはめながら振り返る。	26 18 25
3学期	1 2 3	4. DMO 組織（新しい観光地経営）の探究 それぞれ地域にある DMO と連携しながら地域の観光振興のための実践活動に取り組み、その活動を通して観光マーケティングや観光地経営についての専門的な知識や能力を身につける。 この期間において、コースアドバイザーによる授業を展開し、DMO に関する実践経営や現状と課題について学び、これからの観光地経営の実践例ついて探究する。 5. 自己の資質・能力と学びに向かう態度について探究 この 1 年間を通して、観光ビジネスに必要な資質・能力、その学びの成果についてまとめる。また、これから地元広島の魅力を発信するためには何が必要なのか、自己の資質や能力について探究する。 学年末試験	11

5 その他

この授業は、観光ビジネスに関する内容（旅行商品の開発と販売、観光資源の調査とその魅力を発信する力、新しい観光地経営に関する力など、さまざまな視点から観光ビジネスに関する専門的な力を 1 年間を通して身に付けることができる科目です。観光ビジネスコースを選択している皆さんは、自ら主体的に態度を持って授業に臨んでください。
＊広島魅力発見ツアープロジェクトの活動を含め、土曜日等に課外活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	ファイナンシャルプランニングⅡ(学)	単位数	4単位
		学年等	3年生(金融ライフデザインコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、金融・経済のさまざまな働きを通じ、暮らしや地域社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨き、よりよい社会づくりに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)金融・経済の仕組みについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)金融・経済に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)社会的課題を金融・経済の側面から考察する力の向上を目指して自ら学び、適切なライフプランや社会づくりに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	うかる！FP技能士2級最速テキスト 2023-2024 版(日本経済新聞出版社) うかる! FP3 級 速攻テキスト 2022-2023 年版(日本経済新聞出版社)(継続使用) うかる! FP3 級 速攻問題集 2022-2023 年版(日本経済新聞出版社)(継続使用)

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	金融・経済の仕組みについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	金融・経済に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	社会的課題を金融・経済の側面から考察する力の向上を目指して自ら学び、適切なライフプランや社会づくりに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価点	500点	500点	500点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	6章 相続・事業継承 FP2級の学習 1章 ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝｲﾝｸﾞと資金計画	・定期試験等 ・学科問題 小テスト	・定期試験等 ・実技問題 小テスト	・提出物の状況 ・ワークシートやノートの記述分析
	評価点 600点	200点	200点	200点
2学期	2章 リスク管理 3章 金融資産運用 4章 ﾀｯｸｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ 5章 不動産	・定期試験等 ・学科問題 小テスト	・定期試験等 ・実技問題 小テスト	・提出物の状況 ・ワークシートやノートの記述分析
	評価点 600点	200点	200点	200点
3学期	6章 相続・事業継承 過去問題・模擬問題演習	・定期試験等 ・学科問題 小テスト	・定期試験等 ・実技問題 小テスト	・提出物の状況 ・ワークシートやノートの記述分析
	評価点 300点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	6章 相続・事業継承 ・贈与税の基本 ・相続の基本	12
	5	・相続人と相続分 ・遺産分割および遺言と遺留分 ・相続税の仕組みおよび計算 ＜1学期中間試験＞ FP2級の学習	12
	6 7	1章 ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝｲﾝｸﾞと資金計画 ・FPの基礎と関連法規 ・ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝｲﾝｸﾞと資金計画 ・社会保険制度（医療保険・介護保険・労働保険・雇用保険） ・公的年金制度（国民年金・厚生年金・障害年金・遺族年金） ・公的年金の税金 ＜1学期期末試験＞	16
2学期	8 9	2章 リスク管理 ・生命保険の基礎知識（税金を含む） ・個人年金保険 ・損害保険の基礎知識（税金を含む）	6 16
	10	3章 金融資産運用 ・金融・経済の基礎 ・貯蓄・債券、株式、投資信託、外貨建て金融商品等の基礎知識 ・金融商品等に関連する法律等 ＜2学期中間試験＞	
	11	4章 タックスプランニング ・所得の種類と内容 ・損益通算と繰越控除 ・所得税の申告と納付 ・法人決算書の見方分析と税金について	16 16
	12	5章 不動産 ・不動産の基礎知識 ・不動産の税金 ・不動産の有効活用と投資判断指標 ＜2学期期末試験＞	12
3学期	1	6章 相続・事業継承 ・贈与税および相続の基本	10
	2	・相続人と相続分	10
	3	・遺産分割および遺言と遺留分 ・相続税の仕組みおよび計算と事業承継対策および相続税対策 〇FP2級過去問題および模擬問題演習 ＜学年末試験＞	6

5 その他

2年生から引き続き、この科目では、家計にかかわる金融、税制、不動産、住宅ローン、生命保険、年金制度などの幅広い知識について学習をしていきます。3年生では、自分のライフプランを「お金」の面から客観的にプランニングできる力と、進路先を選択するときの一助になるよう、就業条件や福利厚生など求人票に記載されている内容が理解できる力も身につけていきます。日々のニュースや新聞記事に敏感になり、金融の面から社会を見る目を養えるようにしましょう。

年間指導計画表（シラバス）

科目名	eビジネス（学）	単位数	4単位
		学年等	3年生（ネットビジネスコース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、インターネットを活用したビジネス活動を行うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）インターネットを活用したビジネス活動について実務に即して体系的・系統的に理解してきたことをもとにより良いビジネス活動を実践する技術を身に付けるようにする。 （2）インターネットを活用したビジネス活動に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決していく継続力を養う。 （3）企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、インターネットを活用したより良い情報発信についての活動に主体的かつ協働的に取り組み、実現可能に向けて努力する態度を養う。
使用教科書 副教材等	キタミ式イラストIT塾　ITパスポート（技術評論社） 入門マルチメディア改訂新版（画像情報教育振興協会） 世界一わかりやすい Illustrator＆Photoshop 操作とデザインの教科書（技術評論社） PremierePro スーパーリファレンス（ソーテック社）

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	インターネットを活用したビジネス活動について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	インターネットを活用したビジネス活動に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、インターネットを活用した、より良い情報発信についての活動に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	ネット社会に関する法令 個人情報保護 Web サイトの構築 取引先企業との交渉	・定期考査等 ・CMSや言語を使用したサイト構築 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・企業との連携（コミュニケーション力の評価） ・商品画像等の撮影	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	100 点	100 点	100 点
2学期	HTMLとCSS ネットショップの企画・運営 ビジネスのPDCAサイクル 動画像の基礎	・定期考査等 ・CMSや言語を使用したサイト構築 ・動画像の素材制作	・定期考査等 ・企業との連携（コミュニケーション力の評価） ・商品画像等の撮影	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	100 点	100 点	100 点
3学期	・動画像の仕組み	定期考査等 ・CM制作	・定期考査等 ・企画書の作成 ・CM発表	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容		時数
1学期	4 5 6 7		----------課題試験	55
		ネット社会に関する法令	・利用側や運営側の立場の違い	
		個人情報保護	・知的財産権や情報モラル	
		Web サイトの構築	・コンセプト	
			・取引先企業との交渉	
			・商品画像の撮影	
			・電話応対	
			・ネットショップポスター、チラシの制作 （Illustrator＆Photoshop 作品）	
			・第2期ネットショップ実習（受発注業務3週間）	
			----------1学期期末考査	
2学期	8 9 10 11 12	ビジネスのPDCAサイクル	・第2期ネットショップの振り返り	64
			・販売分析、経営戦略	
			・コンテンツ改善	
			・企業交渉	
			・サイト構築	
			・トラブルシューティング	
			・効果的な広告宣伝活動	
			・第3期ネットショップ実習（受発注業務3週間）	
			・第3期ネットショップの振り返り	
			・統括会議	
			・マニュアル改良	
			・2年生への引継ぎ	
		動画像の基礎	・動画像の基礎知識、特徴	
			----------2学期期末考査	
3学期	1 2		----------課題試験	21
		動画像の基礎と素材制作	・CM制作企画書の作成	
		15秒CM	・素材の制作（撮影、音声、音楽の取り込み）	
			・CM発表（プレゼンテーション）	
			----------学年末考査	

5 その他

2年次より学習し得た知識を活用し、実際の取引に生かせるので、やりがいのある科目です。実際に働いている企業の方々の話も聞けます。また、最後は企業の方への挨拶に2年生を連れて行くこともあるので、お手本になってください。

年間指導計画表（シラバス）

科目名	商業デザインⅡ（学）	単位数	4単位
		学年等	3年生（広報プロデュースコース）

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、広報・広告に関するビジネス活動に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）広報・広告について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （2）広報・広告に関するビジネス上の課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいてあらゆるコンテンツを駆使し、創造的に解決する力や最適な表現力を養う。 （3）経済社会の状況を把握する力の向上を目指して自ら学び、広報・広告を効果的に活用し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	入門CGデザイン －CG制作の基礎－［改訂新版］（公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS 協会）） 図解できちんと理解する After Effects モーショングラフィックスパーフェクトガイド（㈱ラトルズ） 広報プロデュースコース 自主テキスト

2 評価の観点等

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	広報・広告について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	広報・広告に関するビジネス上の課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいてあらゆるコンテンツを駆使し、創造的に解決し、最適な表現をしている。	経済社会の状況を判断したり分析したりする力の向上を目指して自ら学び、広報・広告を効果的に活用する情報発信能力を身に付け、主体的かつ協働的に、自身の学びを振り返り改善している。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	CGとは 動画編集技術（アフターエフェクツ） 表現の基礎 2次元CGと写真撮影 作品の出力	・定期試験等 ・小テスト ・ワークシートの記述分析	・定期試験等 ・小テスト ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析 ・授業の行動観察
	評価点	100点	100点	100点
2学期	プロジェクションマッピング技術 3次元CGの制作 3D 編集技術（Blender） 作品制作	・定期試験等 ・小テスト ・ワークシートの記述分析	・定期試験等 ・小テスト ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析 ・授業の行動観察
	評価点	100点	100点	100点
3学期	デザインの現状（広島・日本・世界） 調査結果分析、課題解決学習 ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ、 ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ 振り返り	・定期試験等 ・小テスト ・ワークシートの記述分析	・定期試験等 ・小テスト ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析 ・授業の行動観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	CGとは ・CGの歴史、産業応用 ・CG映像制作のワークフロー	8
	5	動画編集技術（アフターエフェクツ） ・エフェクト機能 ・コンテンツ制作	8
		表現の基礎 ・色と動き ・タイポグラフィ	16
	6	2次元CGと撮影 ・撮影技術 ・レタッチ・企画に関する打ち合わせ	16
	7	作品の出力　1学期期末試験 ・ディジタルの基礎 ・知的財産権	
2学期	8	プロジェクションマッピング技術 ・映像の投影	4
	9	・映像送出ソフトウェア 3次元CGの制作 ・モデリングとマテリアル ・アニメーションとカメラワーク	12 16
	10	・ライティングとレンダリング ・コンポジット、編集	
	11	3D 編集技術（Blender） ・モデリングの基本操作	16
	12	・マテリアル設定　2学期期末試験 作品制作	4
3学期	1	デザインの現状（広島・日本・世界） 調査結果分析・課題解決学習	16
	2	サステナブルデザイン ユニバーサルデザイン	16
	3	振り返り	8

5 その他

この授業では、広報・広告を活用して、「情報を受発信する力」を身に付けるために、総合的に学んでいきます。自分の目で見て感じたことをデザインにしたり、聞いたことを自分の言葉で発信したりします。その力を社会貢献につなげるために、まずは、広報・広告に関する基礎・基本の知識をしっかりと身に付けいきましょう。また、実社会の実務を想定して、他の人と対話と協働作業を繰り返しながら、作品を作成していきます。自分の意見や考えをしっかり相手に伝える力、また、傾聴力も身に付けられるように頑張っていきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	商品開発と流通	単位数	4単位
		学年等	3年生(流通マーケティングコース)

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 商品開発と流通に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	商品開発と流通(実教出版) 商品開発と流通準拠問題集(実教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し，商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と，流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し，商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに，ビジネスに関わる様々な立場に立って，妥当性と課題などの視点から，科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり，提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち，他者と信頼関係を構築して積極的に関わり，商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。
評価点	250 点	250 点	250 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	Introduction 1 なぜ商品開発と流通は行われるのか？ 2 なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか？ 1 章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり 2 章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案 5 章 商品の販売 1 販売員活動 2 セールスプロモーション 実習 商品の販売	・定期試験 (中間・期末)	・定期試験 (中間・期末)	・学習課題 ・ワークシートの記述分析 ・実習に参加する態度
	評価点	100点	100点	100点

2学期	3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成 4 章 商品の開発 1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン	・定期試験 （中間・期末）	・定期試験 （中間・期末）	・学習課題 ・ワークシートの記述分析 ・実習に参加する態度
	評価点	100点	100点	100点
3学期	6 章 商品と流通に関わる新たな展開 1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通	・定期試験	・定期試験	・学習課題 ・ワークシートの記述分析 ・実習に参加する態度
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	Introduction 1 なぜ商品開発と流通は行われるのか？ 2 なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか？	12
	5	1 章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり	16
		中間試験	1
	6	2 章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案	16
	7	期末試験	1
		実習 商品の販売	10

2学期	8	5 章 商品の販売	4
	9	1 販売員活動	4
		2 セールスプロモーション	
		3章 事業計画の立案	16
		1 事業計画の概要	
		2 価格計画	
		3 流通計画	
		4 プロモーション計画	
		5 事業計画書の作成	
	10	中間試験	1
	11	4 章 商品の開発	15
	12	1 商品仕様と詳細設計	10
		2 プロトタイプ	
		3 商品とデザイン	
		期末試験	1
		実習 商品の販売	8
3学期	1	6 章 商品と流通に関わる新たな展開	10
		1 商品開発の新たな展開	
		2 流通の新たな展開	
	2	3 感覚を活かした商品開発・流通	4
		卒業試験	1
	3	問題演習	10

5 その他

・商品の販売実習の機会ができた際は、積極的に参加してください。